

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きっずるーむクローバー		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 25名
○従業員評価実施期間	令和7年1月15日		～ 令和7年1月31日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 活動の種類が多い プログラムが充実している 幅広くプログラムが提供されている 	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢を示すようにして自発性を生んでいる HPにも掲示している 外部ボランティアの方による活動や地域での活動を意識したプログラムへの取り組み 定期的な会議にて、職員間で協議検討 	<ul style="list-style-type: none"> 新しいプログラムの考案 地域での活動プログラムや外部ボランティアなど協力者の新規開拓(地域の企業や会社、関係機関との連携)
2	<ul style="list-style-type: none"> 本人やご家族との情報共有、ニーズや要望の確認、家族との連携がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の定期的な面談の実施により、情報の共有やニーズ・要望の把握。 定期面談以外での面談希望確認及び実施によるお困りごとやニーズへの対応 送迎、営業時間外の受け入れ等の対応 参観日の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 参観日がより良くなるよう、実施内容の工夫や検討 保護者同士が交流できる機会の確保
3	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの場が多い 支援力向上に向けた取り組みの充実と情報共有の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎや会議等でしっかりと情報共有及び支援の振り返りを行っている(毎月定期的に会議を実施、一日複数回の引継ぎ)。 オンライン研修や集合研修など積極的に参加。 地域の機関や行政等への講師依頼、法人内他事業所専門職の派遣依頼等による職員研修会や利用者と一緒に勉強会及び訓練を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の支援についてさらに話し合いの場(内部ケース会議等)を設けていく(個別支援会議) 幅広く研修案内を情報収集 事業所見学及び研修への取り組み

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーではない 交通量が多く、危険(事業所前での活動が難しい) 利用している設備や備品において、一部利用しづらい箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 建物の構造上 元々の建物を活用しており、大規模改修や移転が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 改修が出来ないので、入口の段差をなくす為に、板などでスロープを設置する必要がある(車イスの利用者の方が上がりやすいように) 地域の公園や公共機関等を活用したプログラムの提供及実施の充実(すでに実施中) 可能な範囲での設備改修や備品入れ替え等の実施 利用者が使いやすいよう、また利用者ニーズに対応できるよう、活動エリアの使い方やレイアウトの見直し
2	<ul style="list-style-type: none"> 学校や地域の関係機関との連携が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの場があまりない お迎え時も様子を聞くことが出来ない 必要に応じての情報共有やケース会議はあるが、定期的に情報共有する機会がなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 学校関係の方と連携ができるようにしていく必要がある 年度初めなどに学校に働きかけるなど、連携を積極的に行う
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 きつずるーむクローバー

公表日 令和7年2月20日

利用児童数 28名(きょうだい児含む)

回収数 25名/26名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	0	0	1		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	1	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23	0	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	1	0	0	面談を通してできる限りの支援をして頂いていると思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	2	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	12	2	5	6		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	4	1	5		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	3	5		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	1	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	1	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	0	0	4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	1	1	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	3	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇の間、朝の開始時刻が8時30分なので、可能なら10分だけでも早くしていただけたらと思っています。 ・振替休日や長期休業中の開所時間を早めていただくと嬉しいです。仕事の時間が早いのももう少し早いとも助かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、夕方のご利用、送り支援等のニーズが多いため8：30からとなっておりますが、検討させていただきます。
その他						利用時、その日の活動内容や様子を伝えてほしいです。	・お迎え時や、連絡ノートに記入して、お伝えしていきます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きつずーむクローバー				公表日	令和7年2月20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		<ul style="list-style-type: none"> 個別対応ができるスペースがあるとよい。 運動の活動で、場所をたくさん使ってしまうと、どうしても遊ぶ場所が狭くなる時がある。 ニーズが多く、定員を超えているが平均すると大丈夫。 個別対応、クールダウンできるスペースがあると良い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 必要な仕切りを入れ、利用者のそれぞれの遊びに対応している。 分かりやすく配置されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休みなどで車イスの利用者が来ることがあるが、玄関から段を乗り越えなければならぬ。 完全なバリアフリーではない。 車いすのお子さんご利用される際に、入口の段差が気になる。 出入口に段差があり職員のサポートが必要。 トイレ環境の改善が望ましい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 毎日活動後に消毒、整理整頓をしているとともに、毎月定期的に点検を行っている(チェック表活用)。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの改善が必要。 トイレやテーブルの高さなど不都合があり改善を要する。 テーブルやイスの改善が望ましい。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員の出勤状況に配慮して、毎月事業所会議、毎日の振り返りを行っている。 	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の定期的な面談、利用希望調査、保護者参観後のアンケート等で機会を設けている。 	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> 朝、昼、夕のミーティングで話す場がある。 毎月の会議、委員会、日々の振り返り(引継ぎ)などで行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からない(未記入)1名
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		<ul style="list-style-type: none"> 分からない(未記入)1名 すみません、わかりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修、外部研修への参加、講師招聘による研修会の実施を行っている。 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	<ul style="list-style-type: none"> HPにアップしている。 毎月の会議で協議、確認し作成している。 ホームページで公表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 分からない(未記入)1名
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の振り返り、定期的な面談等の機会を設けて行っている。 	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な会議にて協議検討し作成している。 	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な会議、日々の引き継ぎ等の実施で共有されている 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の方向性は共有されているが、具体的な支援まで結めることが難しい。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	・アセスメントを用いて会議を行っている。	分からない(未記入)1名
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員間で話し合いながら、具体的な内容を確認している。 ・手順ポイントなどを提示しながら必要に応じて個別対応されている。 ・職員間で役割や協力体制を確認している。	分からない(未記入)1名
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・タイミング遊びなど、新しいものを増やした。 ・工夫はしているが固定したプログラムもある。 ・一部固定化しながら新しい活動や地域での活動の機会を作っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・プログラムの内容や特性に応じ、個別活動と集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・1日に複数回の引き継ぎを行うことで連携が図られている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・計画的にモニタリング、会議がされており、共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		・すみません、わかりません。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・必要に応じて、一部の利用児において連携されている。	・分からない(未記入)1名 ・できている方と、できていない方がいる。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	1	・一部学校との情報共有の場があるが、全てではない。 ・送迎時など、必要に応じてその都度行っている。	分からない(未記入)1名
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		分からない(未記入)2名
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		分からない(未記入)2名
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		分からない(未記入)1名
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		分からない(未記入)1名
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	・研修会、情報交換会に参加している。	・分からない(未記入)1名 ・管理者が参加しているかもしれない。耳にしたことはある。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	・見えやすい場所に情報案内の設置や掲示を行っている。	分からない（未記入）1名
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		分からない（未記入）1名
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・送迎時の情報共有や定期的な面談の実施のほか、毎月の利用申し込み時に面談の希望確認などを行っている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・年2回の面談で。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・定期的な面談以外にも必要に応じて機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	・参観日を設けて、保護者同士が会う場は提供した。	・参観日は設けたが、保護者同士で交流は出来ていない。 ・保護者参観日を設け実施した。保護者同士の交流には至らなかったため、交流の場となる機会を設けたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	・体制を整え、見えやすい場所に掲示されている。	・苦情があったかがわかりません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・活動予定や活動の様子をホームページにアップしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・必要に応じて個別対応を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	・避難訓練に参加していただいた。 ・地域での活動等に積極的に参加している。	分からない（未記入）1名
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		分からない（未記入）1名
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	・アセスメント等により、アレルギーの有無を確認し配慮している。	・分からない（未記入）1名 ・エビペン対応の子が今はいない。 ・対象児がいらない又は指示書はない。 ・指示書のない方もいるので準備が必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・見えやすい場所に掲示されている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修会に参加するとともに、権利擁護委員会や日々の振り返りで虐待について考える機会を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・該当者はいないが、権利擁護委員会や日々の振り返りで確認が行われている。		